

「主な取組」検証票

施策展開	1-(6)-イ	花と緑あふれる県土の形成		
施策	①県民一体となった全島緑化の推進			
(施策の小項目)	—			
主な取組	美ら島づくり行動計画推進事業	実施計画 記載頁	72	
対応する 主な課題	○森林、都市緑化、公園緑化など緑化の対象は広範囲に及ぶため、行政のみならず、地域住民、企業等との協働による県民一体となった緑化の推進が必要である。 ○郊外部では、良好な自然環境、営農環境と調和を図りながら集落景観の保全など魅力的な田園農住地域の整備を行う必要がある。			

1 取組の概要(Plan)

取組内容	「緑の美ら島づくり行動計画」に基づき、県の各緑化施策を総合的に推進するため、緑化施策に資する企業等の緑化活動の支援を行う。また、優良花木等の増殖技術の普及を行う。						
年度別計画	24	25	26	27	28	29～	実施主体
		10件 緑化活動団体の育成件	10件	10件	10件	→	県
	企業等の緑化活動支援、優良花木等の増殖技術の						
担当部課	環境部環境再生課						

2 取組の状況(Do)

(1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成28年度実績				
事業名	予算	決算見込	活動内容	主な財源
美ら島づくり行動計画推進事業	—	—	「緑の美ら島づくり行動計画」に基づき、県の各緑化施策を総合的に推進する。そのため、緑化施策に資する企業等の緑化活動の支援を行った。また、優良花木の増殖技術の普及を行った。	—
活動指標名			計画値	実績値
緑化活動件数			10件	10件
推進状況	推進状況の判定根拠及び平成28年度取組の効果			
順調	県内の企業等団体が取組む緑化活動に対して、環境と目的に応じた植栽樹種の情報提供、「クメノサクラ」等の優良花木の増殖技術等の普及を10件行い、団体の育成に取組んだ。			

(2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成29年度計画			
事業名	当初予算	活動内容	主な財源
美ら島づくり行動計画推進事業	—	「緑の美ら島づくり行動計画」に基づき、県の各緑化施策を総合的に推進する。そのため、緑化施策に資する企業等の緑化活動の支援を行う。また、優良花木の増殖技術の普及を行う。	—

様式1(主な取組)

(3) これまでの改善案の反映状況

平成28年度の取組改善案	反映状況
緑化活動に関する技術書をインターネット等を通じて広く提供する。	インターネット等を通じて、県内の緑化活動団体に対して広く「緑化・維持管理技術書」の普及を行った。

(4) 成果指標の達成状況

成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
県民による緑化活動件数	55件 (23年)	60件 (28年)	増加	5件	—
参考データ	沖縄県の現状・推移			傾向	全国の現状
—	—	—	—	—	—

状況説明	「緑の美ら島づくり行動計画」に基づく、「全島緑化県民運動の展開」、「森林の造成」、「海岸の緑化」、「道路の緑化」、「公共施設の緑化」、「緑化思想の普及啓発」等の各緑化施策の総合的な推進が、緑化活動件数の増加につながっている。
------	--

3 取組の検証(Check)

(1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境の変化)

<p>○内部要因</p> <p>—</p> <p>○外部環境の変化</p> <p>・緑化活動団体から緑化技術等の支援が求められている。</p>

(2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

<p>・緑化活動団体へ緑化技術等の情報提供等を行う。</p>

4 取組の改善案(Action)

<p>・緑化活動に関する技術書をインターネット等を通じて広く提供する。</p>

「主な取組」検証票

施策展開	1-(6)-イ	花と緑あふれる県土の形成		
施策	①県民一体となった全島緑化の推進			
(施策の小項目)	-			
主な取組	全島みどりと花いっぱい運動事業	実施計画 記載頁	72	
対応する 主な課題	○森林、都市緑化、公園緑化など緑化の対象は広範囲に及ぶため、行政のみならず、地域住民、企業等との協働による県民一体となった緑化の推進が必要である。			

1 取組の概要(Plan)

取組内容	緑化事業を県民一体となって推進するため、「沖縄県全島緑化県民運動推進会議」の開催や、企業等と協働で積極的に緑化活動を実施して、緑化活動を普及啓発し、民間への浸透を図る。						
年度別計画	24	25	26	27	28	29～	実施主体
	行政、団体、企業等との協働による緑化活動の支援					→	県市町村等
担当部課	環境部 環境再生課						

2 取組の状況(Do)

(1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成28年度実績				
事業名	予算	決算見込	活動内容	主な財源
全島緑・花・香いっぱい運動事業	5,812	4,910	・沖縄県全島緑化県民運動推進会議の開催(H29年2月)。 ・県内農林高校6校で苗を生産し、学校及び地域へ配布する事業(花のゆりかご事業)を実施。 ・CO2森林吸収量認証制度において5事業者に対し、CO2吸収量認証を行った。	県単等
活動指標名			計画値	実績値
全島緑・花・香いっぱい運動事業			-	84
推進状況	推進状況の判定根拠及び平成28年度取組の効果			
順調	「沖縄県全島緑化県民運動推進会議」を開催し、県の緑化事業を総合的・横断的に推進するとともに、学校・地域住民等が行う緑化活動の支援により県民一体となった緑化活動が各地で実施された。			

(2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成29年度計画			
事業名	当初予算	活動内容	主な財源
全島緑・花・香いっぱい運動事業	9,593	・沖縄県全島緑化県民運動推進会議の開催 ・企業との協働による花の名所づくりの実施 ・花のゆりかご事業の実施 ・CO2森林吸収量認証制度の周知及び運用 ・緑の回廊事業の実施	県単等

様式1(主な取組)

(3) これまでの改善案の反映状況

平成28年度の取組改善案	反映状況
①緑化事業は長期的な取組を実施する必要があるため、引き続き、「沖縄県全島緑化県民運動推進会議」を開催し、企業、学校、地域住民が行う緑化活動への支援を行い、緑化活動への普及啓発により緑化に対する関心を高めていく。また、新たな取り組みとして、沖縄県CO2吸収量認証制度の運用を開始し、企業等による緑化活動の更なる参加を促していく。	①企業、学校、地域住民等の緑化活動を継続的に支援し、緑化活動の普及啓発を図った。また、企業等による緑化活動の推進拡大を目指し、新たに沖縄県CO2吸収量認証制度の本格施行を行い、5事業者に対し、CO2吸収量の認証を行った。

(4) 成果指標の達成状況

成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
県民による緑化活動件数	55件 (23年)	60件 (28年)	増加	5件	—
参考データ	沖縄県の現状・推移			傾向	全国の現状
沖縄県植樹祭 参加者数	宜野湾市 約1,100名 (26年)	名護市 約950名 (27年)	宮古島市 約900名 (28年)	↘	全国植樹祭 約6,000名 (28年)
状況説明	沖縄県植樹祭は、県土緑化の重要性を普及啓発するため、緑化推進運動の中心行事として、昭和26年から毎年開催している。小幅な増減はあるが、地域住民、企業等も多数参加し、県内における緑化推進に係る普及啓発が促進された。				

3 取組の検証(Check)

(1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境の変化)

<p>○内部要因</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緑化を推進するための部局横断的な取組みが十分でない。
<p>○外部環境の変化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開発や都市化の進展に伴い、都市周辺や郊外において、緑化活動に供せられる土地を見つけることが難しくなっている。 ・企業との協働による花の名所づくりにおいて、緑化活動に積極的に取り組む企業等が少ない。

(2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

<ul style="list-style-type: none"> ・更なる緑化の推進を目指し、行政主導型から民間主導型の緑化活動への転換を図るとともに、経済効果や地域振興へ繋がる取組みを検討・推進し、緑化活動の気運を高めていく。

4 取組の改善案(Action)

<ul style="list-style-type: none"> ・緑化事業は長期的な取組を実施する必要があるため、引き続き、「沖縄県全島緑化県民運動推進会議」を開催し、企業、学校、地域住民が行う緑化活動への支援を行い、緑化活動への普及啓発により緑化に対する関心を高めていく。また、CO2森林吸収量認証制度の運用により、企業等による緑化活動の更なる参加を促していく。
--

「主な取組」検証票

施策展開	1-(6)-イ	花と緑あふれる県土の形成
施策	①県民一体となった全島緑化の推進	
(施策の小項目)	—	
主な取組	沖縄グリーンプロモーション事業	実施計画 記載頁 72
対応する 主な課題	○森林、都市緑化、公園緑化など緑化の対象は広範囲に及ぶため、行政のみならず、地域住民、企業等との協働による県民一体となった緑化の推進が必要である。	

1 取組の概要(Plan)

取組内容	地域住民による緑化活動を促進するため、活動に必要な支援用苗づくり体制の構築等に必要な支援を行う。						
年度別計画	24	25	26	27	28	29～	実施主体
	緑化活動の支援	新たな事業による緑化活動の支援	6件 緑化維持管理活動等の支援	→		→	
担当部課	環境部 環境再生課						

2 取組の状況(Do)

(1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成28年度実績				
事業名	予算	決算見込	活動内容	主な財源
沖縄グリーンプロモーション事業	27,726	27,672	地域住民が行う緑化活動を継続的に支援するために組織した団体(中核的団体)の育成・支援を行った	一括交付金(ソフト)
活動指標名			計画値	実績値
地域住民による「花と緑の名所づくり」支援			6件	5件
推進状況	推進状況の判定根拠及び平成28年度取組の効果			
順調	平成28年度から、中核的団体による花苗の生産に対する支援を行っている。年度別計画では6件とあるが、北・中・南・宮・八の各圏域で団体を組織し活動を開始していることから取組の推進状況は順調と判断した。 中核的団体により生産された苗は、県全域で活動するボランティア団体等へ配布・活用され、地域の緑化活動の促進に繋がった。			

(2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成29年度計画			
事業名	当初予算	活動内容	主な財源
沖縄グリーンプロモーション事業	12,666	沖縄らしい「花と緑の名所づくり」活動の拡大・促進をはかるため、地域住民による緑化活動を継続して支援する仕組みを構築する	一括交付金(ソフト)

様式1(主な取組)

(3) これまでの改善案の反映状況

平成28年度の取組改善案	反映状況
①新たに構築した中核的団体が、地域住民の緑化活動を自立かつ持続的に支援できるように花苗づくりの能力を備え、人材育成を行うなどにより組織の強化を行う。 ②また、中核的団体が生産した花苗を地域住民の緑化活動に用いることで、地域と中核的団体の連携を図り、緑化活動の促進に繋げる。	①地域住民へ配布する花苗づくりの能力を備えることができた。 ②また、生産した花苗を地域住民の緑化活動に用いることで、地域と中核的団体の連携に繋げることができた。

(4) 成果指標の達成状況

成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
県民による緑化活動件数	55件 (23年度)	60件 (28年度)	増加	5件	—
参考データ	沖縄県の現状・推移			傾向	全国の現状
沖縄県植樹祭 参加者数	宜野湾市 約1,100名 (26年)	名護市 約950名 (27年)	宮古島市 約900名 (28年)	↘	全国植樹祭 約5,700名 (28年)
状況説明	県民による緑化活動件数は、平成25年度の52件から平成28年度は60件と増加傾向にある。平成29年度についても、引き続き、継続的な緑化活動に向け緑化技術等の支援を行う予定であり、緑化活動件数の更なる増加を図る。また、このような取り組みを継続することにより、県民の花と緑に対する関心を持つ契機となり、植樹祭等の各種緑化関連イベントの参加者数の増加にもつながる。				

3 取組の検証(Check)

(1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境の変化)

<p>○内部要因</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民が継続的に緑化活動を行うためには、花苗を確保することや活動に対する支援が必要であるが、生産技術や緑化技術を兼ね備えた団体の運営基盤が弱いため、強化するための支援が必要である。 <p>○外部環境の変化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緑化活動を行う地域住民からは、活動に必要な苗の支援や緑化技術等の支援が求められている。
--

(2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民を支援する組織(中核的団体)には、生産した花苗の配布にかかる情報発信や、緑化活動の技術向上に係る講習会の開催等による緑化意識の向上への取組が求められる。

4 取組の改善案(Action)

<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民を支援する組織による、情報発信や技術講習会等を行い、継続した支援体制を構築する。

「主な取組」検証票

施策展開	1-(6)-イ	花と緑あふれる県土の形成		
施策	①県民一体となった全島緑化の推進			
(施策の小項目)	—			
主な取組	緑化推進費	実施計画 記載頁	72	
対応する 主な課題	○森林、都市緑化、公園緑化など緑化の対象は広範囲に及ぶため、行政のみならず、地域住民、企業等との協働による県民一体となった緑化の推進が必要である。			

1 取組の概要(Plan)

取組内容	緑豊かな住みよい環境づくりのため、沖縄県植樹祭、県学校緑化コンクール及び緑の少年団の育成・支援等により緑化推進運動を展開する。						
年度別計画	24	25	26	27	28	29～	実施主体
					→	→	県
	植樹祭・緑化コンクールの開催						
担当部課	環境部 環境再生課						

2 取組の状況(Do)

(1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成28年度実績				
事業名	予算	決算見込	活動内容	主な財源
緑化推進費	15,300	12,755	緑化の普及啓発を図るため、県植樹祭、県学校緑化コンクール及び緑の少年団の育成・指導等を行った。	県単等
活動指標名			計画値	実績値
緑の少年団結成数(累計)			—	64団体
推進状況	推進状況の判定根拠及び平成28年度取組の効果			
順調	宮古島市における、地元住民等が参加した植樹祭の開催、県学校緑化コンクール、緑の少年団の育成・指導を行い、順調に取組を推進した。 地域、教育現場に対して緑化の普及啓発がなされ、県民の緑化への関心が醸成された。			

(2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成29年度計画			
事業名	当初予算	活動内容	主な財源
緑化推進費	16,021	緑化の普及啓発を図るため、県植樹祭、県学校緑化コンクール及び緑の少年団の育成・指導等を行う。	県単等

様式1(主な取組)

(3) これまでの改善案の反映状況

平成28年度の取組改善案	反映状況
①植樹祭の会場は、開催後も人々が植樹した苗木を見に訪れるような場所にしていきたい。そのためには樹木を健全に生育させる必要がある。また苗木の植樹箇所の検討や維持管理方法等について、事前に主催者となる県や市町村等が樹種選定、生育環境、維持管理法などについて事前の調整を行う。	①植樹祭の開催会場は、市町村と調整を行い、地元の方が訪れる機会の多い公園とした。植樹用の苗木は維持管理のしやすい樹種が選定された。また、植樹祭開催後の苗木の維持管理について、市町村の管理担当部署や維持管理方法を明確にすることができた。

(4) 成果指標の達成状況

成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
県民による緑化活動件数	55件 (23年度)	60件 (28年度)	増加	5件	—
参考データ	沖縄県の現状・推移			傾向	全国の現状
沖縄県植樹祭 参加者数	宜野湾市 約1,100名 (26年)	名護市 約950名 (27年)	宮古島市 約900名 (28年)	↘	全国植樹祭 約6,000名 (28年)

状況説明	県民による緑化活動件数は、平成23年度の55件から5件改善し、現状値で60件(28年度)と成果指標を達成した。平成29年度についても、緑化情報を発信し県土緑化の重要性等の普及啓発し緑化活動件数の更なる増加を図る。植樹祭参加者数は、平成26年の1100名から、平成28年は900名と参加者数が減少しているが、開催ごと目標人数を約8割達成し、緑化の効用や、必要性を発信することができた。
------	---

3 取組の検証(Check)

(1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境の変化)

<p>○内部要因</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県土緑化の重要性を普及啓発するための重要なイベントであることから、今後も継続して開催していくために、県の広報誌、広報媒体を活用したイベントの開催案内のPRを行い、県民、企業等へ広く周知をはかり参加者の増大を図る。 <p>○外部環境の変化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然環境保全の機運の高まりがある中で、緑化の効用、緑化の必要性を重視したイベントや事業の広報活動を行い、県民や企業による自然環境保全活動への積極的な取り組みを促す広報活動を行う。

(2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

<ul style="list-style-type: none"> ・これまでのイベントでは開催直前の広報となっているため、周知が行き届いていない可能性があるため、早期の情報提供とその提供方法の改善を行っていく。
--

4 取組の改善案(Action)

<ul style="list-style-type: none"> ・イベントやコンクール開催などの周知について、情報する媒体、提供場所、提供する対象者等をふまえた情報発信を行い、早期のイベント開催案内を行うとともに、広報内容を工夫、充実させることにより参加者の増大を図る。
